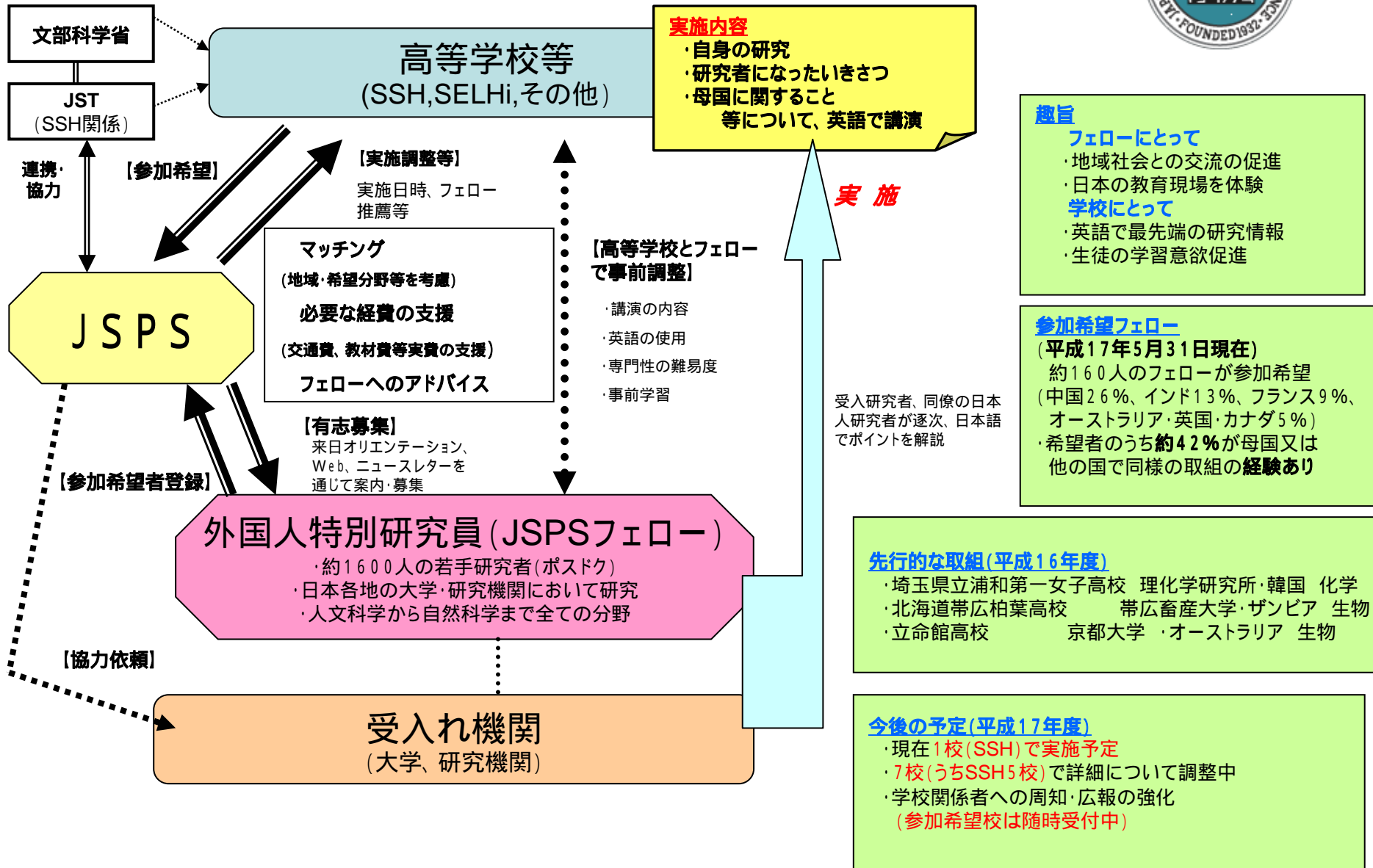


サイエンス・ダイアログプログラム (平成17年度より開始 平成16年度先行的取組)



サイエンス・ダイアログ事業の実施状況(先行的な取組)

1. 埼玉県立浦和第一女子高等学校

実施日：平成 16 年 12 月 10 日（於：理化学研究所）

JSPS フェロー：Dr. Mina HAN

（国籍：韓国、受入機関：理化学研究所）

講演内容：「化学を選んだ理由」

* 講演：約 30 分、質疑応答：約 5 分

言語：英語（本人が適宜日本語で解説）

参加生徒：高校 1、2 年生約 40 人（SSH クラス他）

* SSH 研修（理研見学）の一環として実施



2. 北海道帯広柏葉高等学校

実施日：平成 16 年 12 月 18 日（於：帯広柏葉高等学校）

JSPS フェロー：Dr. Boniface NAMANGALA

（国籍：ザンビア、受入機関：帯広畜産大学）

講演内容：「Tick Control by Immunization」

（ダニに対する免疫法の開発）

* 講演：約 30 分、質疑応答：約 30 分

言語：英語（杉本教授(受入研究者)が要点を適宜日本語で解説）

参加生徒：高校 1、2 年生 41 人（SSH クラス）

* SSH 研究成果発表会の一環として実施



3. 立命館高等学校

実施日：平成 17 年 2 月 1 日（於：立命館高等学校）

JSPS フェロー：Dr. Kyle Nicholas ARMSTRONG

（国籍：オーストラリア、受入機関：京都大学）

講演内容：「The science behind the conservation of endangered species: My experiences with Australian and Japanese bats」

（絶滅危惧種保護のためのサイエンス ~オーストラリアと日本のコウモリに関する私の研究体験~）

* 講演：約 60 分、質疑応答：約 15 分

言語：英語（同僚の日本人研究者が要点を適宜日本語で解説）

参加生徒：高校 2、3 年生約 39 人（SSH クラス）

* 講義の一環として実施

